



# えっ！？本物？クリスマスツリー



前回の駐在員日よりでは、滋賀県守山市とその姉妹都市であるエイドリアン市でクリスマスに関連するギネス世界新記録が認定されたことについてお話ししましたが、今回はアメリカ、ミシガンのクリスマスツリー事情をお話したいと思います。

みなさんをご家庭でクリスマスツリーを飾られていますか？私は、子供の頃にクリスマス前になると母親が物置から小さなクリスマスツリーを引っ張り出してきてくれて、オーナメントの飾り付けを楽しんでいました。最後にツリーのてっぺんに星をどちらが付けるかで姉とけんかしていたことを思い出します。

さて、先日、ミシガン州イプシランティ市にある友人宅を訪問した際、玄関を入るとたん森の中にいるような新鮮で心地よい香りがしました。香りの原因はリビングルームに飾られた大きな生木のクリスマスツリー。「えっ！？本物なの？」と聞いたところ、「もちろん。葉っぱの掃除は少し手間がかかるけど、やっぱり香りがいいもんね。結構、どこの家でも生の木に飾り付けをしているよ。」とのこと。こちらでは、多くのご家庭で近隣のクリスマスツリーファームに行き、ファームにある木の中から自分たちが気に入った木をのこぎりで切って購入してくるのがクリスマス準備の第一段階だそうです。



素敵な木に出会えました！



長さ調整も大切な仕事 Andy Gillman さん



飾り付けに大忙し！

Kasey ちゃん&Cassidy ちゃん



素敵なクリスマスツリーの完成

写真提供：滋賀県大好き Anne Hooghart さん

Michigan Christmas Tree Association (MCTA) ※によると、アメリカ国内で約3億5千万本のクリスマスツリー用の木が育てられていて、そのうち約3千万本が毎年市場で販売されています。全州にクリスマスツリーファームはありますが、その中でもミシガン州はクリスマスツリー産業界を牽引する州の1つで、生産量では全米3位にランクイン！なんと毎年約200億ドルの経済効果をもたらし、9万6千人を超える雇用を生み出しています。また、持続可能な森林環境を守るためにも毎年木を伐採し、また苗木を植えることは大切なプロセスであるとMCTAは言っています。

ところで、生木のクリスマスツリーを楽しんだ後、その木はどうされるのでしょうか？

クリスマスツリーは100%リサイクル可能な資源として姿を変えて再利用されています。以下ではMCTAが紹介している再利用方法です。

- 州内ほとんどの都市が特定の回収場所を設けていますので、持ち込みする。  
※回収後、木は細かく裁断され、ウッドチップとして公園や森林地域の被覆材として利用されたり、住民に無料配布されたりします。
- ご自宅で裁断し、ウッドチップを自宅の庭で再利用。
- お庭に置いておくと鳥やリスなどの小動物が隠れ家として利用してくれます。木がもろくなってきたら細かく裁断し、園芸用として再利用。

日本でもホームセンターやインターネットで生木を購入できる機会も増えてきています。みなさんも一度、生木のクリスマスツリーで豊かな香りを楽しんでみてはいかがでしょうか？

※Michigan Christmas Tree Association <https://www.mcta.org/home-page>